

令和 2 年度 事業 報告

(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで)

I 当法人の概況

1 役員等に関する事項

(1) 理事及び監事に関する事項

理 事

定 数 9 人以上 13 人以内 (会長、副会長及び専務理事を含む)

任 期 選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで

現在数 常勤 1 人、非常勤 10 人、計 11 人

監 事

定 数 2 人

任 期 選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤 2 人、計 2 人

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
会 長	竹谷 千里	R 1 . 6 . 18～ 令和 3 年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道公安委員会 委員
副会長	山谷敬三郎	〃	〃	〃	北翔大学 学長
理 事	井畑 靖彦	R 2 . 6 . 18～ 令和 3 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道中学校長会 対策部幹事
〃	平田 弘子	〃	〃	〃	北海道 P T A 連合会 事務局長
〃	猪股 大輔	R 1 . 6 . 18～ 令和 3 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道青年団体協議会 監事
〃	中畑 雅幸	R 2 . 6 . 18～ 令和 3 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道商工会連合会 総務部長
〃	杉本 和弘	R 1 . 6 . 18～ 令和 3 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道新聞社 NIE 推進センター 委員

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
理事	荒木 関 栄	R 1. 6. 18～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	旭川市青少年育成部 連絡協議会 会長
〃	清水 和夫	〃	〃	〃	札幌市北区青少年 育成委員会連絡協議会 議長
〃	山田 園子	〃	〃	〃	新得町子ども会
専務理事	柴田 千尋	R 2. 6. 18～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監事	西村 俊二	H29. 6. 20～ 令和3年度定時評議員 会終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	酒元 辰也	〃	〃	〃	北海道歴史文化財団 専務理事

(2) 評議員に関する事項

定数 9人以上13人以内

任期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤11人、計11人

(令和3年3月31日現在)

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	上田 智史	R 2. 6. 18～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	吉田 信興	R 1. 6. 18～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道小学校長会 事務局長
〃	吉澤 政昭	H29. 6. 20～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道市長会 事務局長
〃	山内 康弘	〃	〃	〃	北海道町村会 事務局長

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	木村 謙治	H29. 6. 20～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長
〃	北野 和	R 2. 6. 18～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	日本ボーイスカウト 北海道連盟 常任理事
〃	中川 淳二	H30. 6. 21～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	時田 昭子	H29. 6. 20～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 理事
〃	菅原 光宏	〃	〃	〃	北海道経済連合会 理事事務局長
〃	高橋 直樹	R 1. 6. 18～ 令和3年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道農業協同組合中央会 協同活動推進室長
〃	多田 好宏	〃	〃	〃	北海道介護支援専門員協会 事務局長

2 賛助会員に関する事項

(令和3年3月31日現在)

種類	前年度末	当年度末	増減
普通賛助会員 個人	54 人	51 人	-3 人
普通賛助会員 青少年関係団体	51 団体	50 団体	-1 団体
特別賛助会員	148 団体	145 団体	-3 団体
合計	253 人・団体	246 人・団体	-7 人・団体

3 職員に関する事項

現在数 5名

(令和3年3月31日現在)

役職	氏名	常勤・非常勤の別
事務局次長	遠藤 善彦	常 勤
主 任	竹本 郁子	〃
主 任	福田 拓哉	〃
専門指導員	杉山 健	〃
嘱 託	工藤 かおり	〃

II 事業に関する事項

1 令和2年度事業の実施状況

別添のとおり

2 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
令和2年6月1日 (書面理事会)	① 令和元年度事業報告について ② 令和元年度収支決算について(監査報告) ③ 諸規程の一部改正について ④ 評議員会の開催及び目的である事項について ⑤ 事務局長の任命について	承認 承認 承認 承認 承認
令和2年6月18日 (書面理事会)	① 専務理事の選任について	承認
令和3年3月23日	① 令和3年度活動方針及び事業計画(案)について ② 令和3年度予算(案)について ③ 資金調達及び設備投資の見込みについて ④ 令和3年度資金管理運用執行方針及び計画(案)について ⑤ 諸規程の一部改正、制定及び廃止について	承認 承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
令和2年6月18日	① 令和元年度収支決算について(監査報告) ② 理事の補充選任について ③ 評議員の補充選任について	承認 承認 承認

(3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
令和2年8月24日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度北海道青少年基金事業実績及び収支決算について 令和2年度「青少年団体・グループ及び青少年顕彰」の決定について 令和2年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について
令和2年11月5日 (書面委員会)	令和2年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について (追加決定)
令和2年11月26日 (書面委員会)	令和2年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について (追加決定)
令和2年12月28日 (書面委員会)	令和2年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について (追加決定)

3 所管庁への届出事項

届出年月日	届出事項
令和2年6月18日	令和元年度事業状況報告等の提出
令和2年7月13日	理事・評議員変更の届出
令和3年3月29日	令和3年度事業計画等の提出

4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
令和2年4月17日	令和元年度補助金事業実績報告に係る現地調査 (道環境生活部)	なし
令和2年10月14日	法人の運営組織及び事業活動の状況に関する 立入検査 (道総務部)	なし
令和3年2月19日	地方自治法による監査 (道監査委員事務局)	なし

5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項は特にありません。

Ⅱ－１．令和２年度事業の実施状況

青少年を取り巻く状況は、いじめや不登校、児童虐待、スマートフォンの利用に伴うトラブルや被害の増加、困難を有する子ども・若者の社会的自立の支援や子どもの貧困問題など、憂慮すべき問題が生じており、行政や関係団体、企業、NPOなど様々な立場からの連携した取り組みが求められています。

このため、当協会では、北海道や関係機関・団体等と密接に連携し、コロナ禍の状況を踏まえつつ、青少年の健全育成に向けた各般の事業の推進に努めました。

令和２年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

事業名	事業の概要	備考
1. 青少年育成住民運動促進事業	<p>運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、関係者との合同会議を開催するなどして、地域での青少年育成運動についての共通理解を深めるとともに、関係団体の連携による住民の運動の促進に努めた。</p> <p>(「青少年問題を考える地域懇話会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。)</p>	
(1) 北海道青少年育成運動推進指導員の配置	<p>■ 定員 238人 《内訳》 (総合)振興局(青少年指導員)、教育局(社会教育主事) (総合)振興局管内(青年代表)各1人 札幌市10人、旭川市・函館市は各3人 小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各2人 その他の市及び町村各1人</p> <p>■ 活動 (1) 青少年育成運動(地域行事・活動に参加) (2) 地域団体等の事業を実施 (3) 非行防止、環境浄化(巡回パトロールなど) (4) 行政との連携(市町村行事等に参加) (5) 当協会の事業推進(地域住民に情報提供など)</p> <p>■ 調査 コロナ禍の「青少年の育成」のあり方について、アンケート調査を実施し、その内容を当協会ホームページや機関誌等に掲載し、情報提供に努めた。</p>	
(2) 青少年育成地域合同会議の開催(北海道との共催)	<p>全道14箇所(各(総合)振興局)で開催し、青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者等が出席した。</p> <p>■ 期 日 令和2年8月28日(金)～10月28日(水) (新型コロナウイルスの影響により開催時期を秋に延期。)</p> <p>■ 会 場 各(総合)振興局単位(14会場)</p> <p>■ 対 象 (1) 青少年育成運動推進指導員 (2) 市町村青少年行政担当者 (3) 青少年育成市町村民会議関係者</p> <p>■ 参加者 347名(総計)</p> <p>■ 内 容 (1) 令和2年度青少年育成施策の推進について (2) 少年非行の概況について (3) 情報提供・意見交換について</p>	

事業名	事業の概要	備考
(3) 市町村民会議等の連携強化	<p>地域の青少年育成運動の中核である青少年育成市町村民会議（66市町村設置）へ、啓発資材や機関誌等の配布により情報提供を行い、地域の連携の強化や運動の支援を図った。</p> <p>■ 活動内容の紹介 当協会ホームページに活動内容を掲載したほか、当協会機関誌で、次の市町村民会議の活動内容を紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛別町青少年育成協議会 ・美幌町青少年育成協議会 ・芽室町青少年健全育成協議会 	
2. 青少年を育成する環境づくり推進事業	<p>青少年の育成について、社会全体が取り組む環境づくりを進めるため、北海道青少年育成大会や青少年育成関係団体懇談会など関連事業を開催し、青少年育成について共通理解を深めた。</p>	
(1) 北海道青少年育成大会の開催（「青少年育成運動活性化研究協議会」と兼ねて開催）	<p>大会はコロナ禍を考慮し、「青少年育成運動活性化研究協議会」と兼ねて、「新北海道スタイル」に則り開催した。青少年育成基金事業顕彰の表彰式や、新たな試みとしてオンラインによる基調講演、青少年の活動発表、事例発表（2件）を行い、本道における青少年育成活動の一層の推進をアピールすることができた。なお、「少年の主張」全道大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により学校が長期間休校となり、地区代表が選出されなかったため中止とした。</p> <p>■ 期 日 令和2年9月4日(金)</p> <p>■ 場 所 道民活動センター(かでの2・7)ホール</p> <p>■ 参加者 青少年育成関係者（主催者等含む）170名</p> <p>■ 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開 会（主催者挨拶） ・令和2年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式 受賞団体：「尾岱沼下の句カルタ少年団」（別海町） ・来賓祝辞 ・基調講演（オンライン講演） 演 題：「コロナショックにより傷つきを抱えた子ども達への関わり」 講 師：昭和大学准教授 副島 賢和 氏 ・休 憩（日本列島縦断テレワーク演奏／遠軽高校吹奏楽局等を上映） ・青少年の活動発表 発表団体：北海道高校生ネットワーク「BLOSSOM」 ・事例発表 発表題：「子ども・若者の居場所を考える」 発表者：札幌市若者支援総合センター(Youth+センター) 館長 松田 考 氏 発表題：「地域で子どもを支えるということ －釧路鳥取てらこやの可能性－」 発表者： ネイパル厚岸 所長 森 敏隆 氏 	

事業名	事業の概要	備考
<p>(2) 明るい家庭づくり道民運動の推進</p>	<p>本運動をより一層推進するため、「道民家庭の日」啓発資料の作成配付、「家族ふれあい優待制度」、「道民家庭の日」絵画コンクールなどを実施し、「道民家庭の日」の普及啓発に努めた。</p> <p>①「道民家庭の日」普及促進のための情報誌等への掲載 北海道新聞社発行の「さっぽろ10区（トーク）」に、「道民家庭の日」PRキャラクターであるほーほーくんを掲載したほか、(株)リクルート北海道じゃらん発行の「北海道じゃらん4月号」に関係記事を掲載し普及促進に努めた。</p> <p>②「道民家庭の日」啓発資料等の作成・配付等 各市町村や全道の小中学校、児童館、関係機関・団体などに配付したほか、各種事業やイベント等で活用し啓発に努めた。</p> <p>（啓発リーフレット(65,000部)、カレンダー(3,400部)、メモ帳(4,000部)、自由帳(3,000部)、クリアファイル(4,000枚)、啓発シール(5,000シート)、ゴム風船(2,000個)など</p> <p>③家族ふれあい優待制度の普及促進 各振興局や市町村、推進指導員に情報提供や協力依頼をしたほか、民間企業等の情報誌や映画ポスターにおいてPR活動に努め、その結果、大手ハンバーガーチェーン店(47店舗)が、新たに協賛店として加入した。</p> <p>《協賛店・施設》 ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館、テーマパーク、果樹園、ボウリング場、スーパー・商店、キャンプ場など 計 376ヶ所(前年度340ヶ所)</p> <p>④「道民家庭の日」絵画コンクール2020の実施 全道の小・中学校児童生徒の応募絵画の中から審査により入選作品を決定し表彰するとともに、入賞作品展を開催した。 コロナ禍にも拘わらず、例年どおり全道から300点以上の作品が集まった。(応募総数：308点/62校)</p> <p>・最優秀賞 2点(賞状、盾)</p> <p>小学生の部 受賞者：乙部町立明和小学校4年 近藤 李莉 さん 題名：「おじいちゃんの育てたおいしいぶどう」</p> <p>中学生の部 受賞者：室蘭市立桜蘭中学校1年 富樫ののか さん 題名：「休日の焼肉」</p> <p>(以下、部門毎に入選作品を決定)</p> <p>・優秀賞 各 2点(賞状、盾) ・優良賞 各 6点(賞状、盾) ・佳作 各24点(賞状) ・学校賞 6校(賞状)</p>	

事業名	事業の概要	備考																											
(2) 明るい家庭づくり道民運動の推進	<p>■ 絵画コンクール入賞作品展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道庁1階「道民ホールA」(入場者数：186名) (令和2年11月12日～13日) <p>11月12日のテレビ放送(NHK情報番組)で入賞作品展の紹介やコンクール内容等が取り上げられ放送された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌駅前通地下広場 (入場者数：130名) (令和3年1月15日) ・各(総合)振興局庁舎等 [過去最多の9振興局で開催] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="0"> <tr><td>上</td><td>川</td><td>令和2年11月18日～25日</td></tr> <tr><td>十</td><td>勝</td><td>令和2年11月30日～12月4日</td></tr> <tr><td>檜</td><td>山</td><td>令和2年12月7日～11日</td></tr> <tr><td>日</td><td>高</td><td>令和2年12月14日～21日</td></tr> <tr><td>胆</td><td>振</td><td>令和2年12月23日～令和3年1月8日</td></tr> <tr><td>オホーツク</td><td></td><td>令和3年1月15日～22日</td></tr> <tr><td>渡</td><td>島</td><td>令和3年1月25日～29日</td></tr> <tr><td>宗</td><td>谷</td><td>令和3年2月15日～19日</td></tr> <tr><td>根</td><td>室</td><td>令和3年2月22日～26日</td></tr> </table> </div>	上	川	令和2年11月18日～25日	十	勝	令和2年11月30日～12月4日	檜	山	令和2年12月7日～11日	日	高	令和2年12月14日～21日	胆	振	令和2年12月23日～令和3年1月8日	オホーツク		令和3年1月15日～22日	渡	島	令和3年1月25日～29日	宗	谷	令和3年2月15日～19日	根	室	令和3年2月22日～26日	
上	川	令和2年11月18日～25日																											
十	勝	令和2年11月30日～12月4日																											
檜	山	令和2年12月7日～11日																											
日	高	令和2年12月14日～21日																											
胆	振	令和2年12月23日～令和3年1月8日																											
オホーツク		令和3年1月15日～22日																											
渡	島	令和3年1月25日～29日																											
宗	谷	令和3年2月15日～19日																											
根	室	令和3年2月22日～26日																											
(3) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進	<p>7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(国)、「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」(道)、11月の「子供・若者育成支援強調月間」(国)の一環として関係団体と街頭啓発活動を実施したほか、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。</p> <p>① <u>関係団体と協力した街頭啓発活動等の実施</u></p> <p>「夏・冬の暴力追放運動」街頭啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 共催 公益財団法人北海道暴力追放センター ■ 日時 令和2年7月～8月 (2日間/延べ2回) 令和2年12月 (1日間/延べ1回) ■ 実施場所 地下鉄駅前等(札幌市内) ■ 配付資材 「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュ及びリーフレット、メモ帳 総計 300個 <p>また、7月の強調月間での街頭啓発等に係る啓発資材として、「道民家庭の日」ポケットティッシュを各(総合)振興局に配付し、非行防止活動の一層の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 配付部数 ポケットティッシュ 計 13,500個 <p>② <u>麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーンビデオ「DRUG」の貸出</u></p> <p>麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーン映画「DRUG」のビデオテープの貸出について当協会ホームページで周知を図った。</p>																												

事業名	事業の概要	備考
(3) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進	<p>③ <u>未成年者の飲酒・喫煙防止活動の促進</u> 当協会のホームページに喫煙と健康の問題に関する情報を掲載し、未成年者の喫煙防止活動の一層の充実を図った。</p> <p>④ <u>有害情報から青少年を守る活動の推進</u> 北海道や学校関係者、情報通信企業などにより構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会の一員として、インターネットや携帯電話による有害情報から青少年を守るため、各種啓発活動を進めた。</p>	
(4) 「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進	<p>啓発資料を市町村及び関係機関・団体等に配付したほか、当協会が開催した各種大会等を通じ、運動の周知に努めた。 (配付部数) 「大人が変われば、子どもも変わる」 啓発パンフレット 3, 000部</p>	
(5) 「北海道青少年のための200冊」の選定推奨	<p>① <u>「北海道青少年のための200冊」普及事業</u> 青少年の読書普及の一環として、北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会、各出版社の協力を得て、令和2年度版「北海道青少年のための200冊」を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成して、全道の幼稚園や小・中・高校など関係方面に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。 (配付部数) ・令和2年度図書目録 12, 000部 ・令和2年度新選図書目録 11, 000部 ・200冊啓発ポスター 2, 900部 (協賛出版社) 48社 〔前年度から2社増加〕</p> <p>② <u>第32回読書感想画中央コンクール・第7回全道コンクール</u> 北海道学校図書館協会及び毎日新聞社が主催するもので、対象図書として活用された。</p> <p>③ <u>第66回青少年読書感想文全道コンクール・第46回北海道指定図書読書感想文コンクール</u> 北海道学校図書館協会及び毎日新聞社が主催。「協会長賞(2名)」を贈呈し、青少年の読書の普及活動を支援した。</p>	
(6) 青少年育成関係団体懇談会の開催	<p>青少年育成関係団体・機関が一堂に会し、相互の団体活動の連携協力や青少年健全育成の効果的な促進について情報交換などを行ったほか、話題提供により、コロナ禍における子どもの現状や家庭が抱える課題等を把握し、共通認識を深めた。</p> <p>■ 期 日 令和3年2月5日(金) ■ 場 所 かでる2・7 10階 1060会議室 ■ 参加団体 8団体・4機関</p>	

事業名	事業の概要	備考
(6) 青少年育成関係団体懇談会の開催	<p>■ 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話題提供 演題：「学び支援事業で関わる子どもの現状 ーコロナ禍における家庭が抱える課題」について 説明：認定NPO法人K a c o t a m (カコタム) 理事長 高橋 勇造 氏 ・ 意見交換、情報提供など 	
(7) 広報啓発活動の推進	<p>① 啓発資材の作成・配布 「道民家庭の日」絵画コンクール入賞作品12点を掲載した2021年カレンダーを作成し、市町村、小・中学校、関係機関・団体に配付し、青少年育成運動の普及促進に努めた。 (配付部数) 2021年カレンダー 3, 400部</p> <p>② 協会機関誌の発行 青少年育成運動の推進に対する理解と関心を高めるため、協会の事業報告や関係機関の関連記事などを掲載する機関誌を年2回発行し、各総合振興局・振興局、市町村、関係機関・団体、賛助会員等に配付し、広報啓発を行った。 (配付部数) 協会機関誌「育む」 (各回) 2, 500部</p> <p>③ 講師派遣の実施 各振興局、市町村、育成団体等が開催する各種研修会に講師を派遣し、全道の青少年育成運動の現状と課題等について講演を行った。</p> <p>■ 派遣場所 (派遣回数 3回/総参加者 48名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 留寿都村青少年問題協議会研修会 (留寿都村/参加者15名) ・ 後志管内青少年育成運動推進指導員協議会研修会 (倶知安町/参加者13名) ・ 安平町生徒指導連絡協議会研修会 (安平町/参加者20名) <p>④ ホームページ・SNSの活用 インターネットの特性を活かし、ホームページで、大会・行事等の開催予告及び報告、絵画コンクール作品募集等の記事や出版物の電子版を掲載したほか、SNS (フェイスブック) を活用し、若年層等への情報発信に努めた。</p> <p>⑤ 講演録集の作成・配布 青少年育成についての理解を深めるため、北海道青少年育成大会や他の基調講演の内容を取りまとめた講演録集「次代を見つめて'20」を発行し、各市町村・推進指導員・関係機関等に配付した。</p> <p>■ 配付部数 700部</p> <p>■ 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名 称：北海道青少年育成大会 (基調講演) 演 題：「コロナショックにより傷つきを抱えた 子ども達への関わり」 講 師：副島 賢和 氏 (昭和大学准教授) 	

事業名	事業の概要	備考
	<ul style="list-style-type: none"> ・名称：北海道青少年育成大会（事例発表／2名） 発表題：「子ども・若者の居場所を考える」 発表者：松田 考 氏 (札幌市若者支援総合センター(Youth+センター)館長) 発表題：「地域で子どもを支えるということ －釧路鳥取てらこやの可能性－」 発表者：森 敏隆 氏（ネイパル厚岸所長） ・名称：令和元年度子供・若者育成支援のための 地域連携推進事業／中央研修大会（基調講演） 演 題：「ひきこもり調査の結果の概要、ポイント」 講 師：門田 光司 氏（久留米大学文学部教授） 	
3. 社会参加促進事業	<p>青少年の社会参加活動を促進するため、青少年基金を活用し顕彰事業や助成事業を行うとともに、青年の主体的な社会参加活動を通して地域の中核的な担い手として成長することをめざす「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施した。 (「青年活動元気づくり実践セミナー」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。)</p>	
<p>(1) 青少年の社会参加・体験活動等への支援 (北海道青少年基金事業)</p>	<p>北海道青少年基金の充実を図るため、関係機関・団体等に対し募金活動を行った。 また、運用益事業では、青少年団体・グループに助成し、青少年の社会参加活動を促進するとともに、他の模範となる青少年団体を顕彰した。</p> <p><u>① 募金活動</u> 道職員や各関係団体への協力要請、新成人記念募金、施設や運用益交付事業実施時の募金箱の設置依頼、当協会実施行事等で募金の呼び掛けを行った。</p> <p>■ 基金造成実績 募金実績額：1 1 3万7, 4 9 6円（予算額：1 3 0万円） 基金累計額：3億3, 5 8 8万9, 2 7 1円</p> <p><u>② 運用益交付等事業</u></p> <p>■ 助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付団体数 1 9団体（最終申請数：1 9団体） ・交付総額 1 4 2万5千円 <p>■ 顕彰事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の部 1 団体（推薦数：1 団体） 尾岱沼下の句カルタ少年団（別海町） 令和2年9月4日開催の「北海道青少年育成大会」にて、表彰状及び盾を贈呈した。 	

事業名	事業の概要	備考
(2) 北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業の推進	<p>青年団体・グループが行う地域の活性化活動に対し、交付金を交付し活動の推進を図った。</p> <p>交付団体は、コロナ禍で事業内容を見直すなど柔軟に対応し、オンラインで事業を実施した。</p> <p>【交付青年団体グループ名・事業名】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 特定非営利活動法人 ezo rock </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業名：Hokkaido Youth Sessions GREEN DAY オンライン ■ 期 日：令和3年2月20日（土）～21日（日） ■ 場 所：ezo rock 事務所（札幌市／Zoom配信会場） ■ 参加者：150名 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 小さな羊飼いプロジェクト </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業名：食育実践のための講座（オンライン開催） ■ 期 日：令和3年2月20日（土）、27日（土） ■ 場 所：余市テラス（余市町／Zoom配信会場） ■ 参加者：24名 	
4. 国や中央団体等との連携	<p>関係機関・団体の事業を共催により実施するとともに、関係団体が実施した事業に協力した。</p>	
(1) 北海道・東北ブロック研修会、中央研修大会の参加	<p>① <u>北海道・東北ブロック研修会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日 時 令和2年10月12日（月） ■ 場 所 大手門パルズ（山形県） ■ 参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 4名 <p>② <u>中央研修大会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日 時 令和2年11月30日（月）～12月1日（火） ■ 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都） ■ 参加者 北海道青少年育成運動推進指導員 1名 	
(2) 北海道児童館連絡協議会事務局業務の受託	<p>道内の児童館で構成する北海道児童館連絡協議会の事務局業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道児童館連絡協議会総会の開催（書面） 	
(3) 「日本の次世代リーダー養成塾」道内高等学校生の派遣事業に対する協力	<p>本道の青少年の自立を促し、ボランティアや国際貢献、起業などに取り組む意欲を向上させるため、次代の北海道を担う青少年育成協議会の構成機関として協力した。</p>	